兵庫県地域支援金融会議
事務局　兵庫県信用保証協会

伴走支援グッド・プラクティス発表会 発表事例の概要

長期化する新型コロナウイルス感染症の流行、デジタル技術の革新及びSDGs・脱炭素への対応など、近年、中小企業・小規模事業者の皆さまを取り巻く経営環境は大きく変化しており、事業者が抱える経営課題は多様化しています。

このような中、当協会が事務局を務める兵庫県地域支援金融会議※1では、本会議の参加機関による優れた伴走支援事例を公表し、県下の支援機関が組織を超えてそのノウハウを共有することで、伴走支援スキルの向上を図り、地域経済の発展に寄与することを目的として、「伴走支援グッド・プラクティス発表会」を開催しました。

当日は、本会議の参加機関から募集した「伴走支援事例※2」（56事例）の中から、神戸大学経済経営研究所長 家森教授の監修のもと選考された好事例（10事例）について、応募者から発表※3を行いました。

各発表事例の概要は以下のとおりです。

※1 兵庫県地域支援金融会議は、県内の中小企業者に金融と経営の一体的支援を実施するため、近畿経済産業局、近畿財務局神戸財務事務所、兵庫県、経営支援機関、中小企業活性化協議会、地域経済活性化支援機構、法務・会計・税務等の専門家、政府系金融機関、金融機関、金融団体、信用保証協会の 36 機関で構成された中小企業支援ネットワークです。

※2 令和元年度以降に、「現状分析・整理→経営課題設定→課題解決策の実施→経営状況の変化」を促した事例とし、現在進行中の成果把握に至っていない事例を含みます。また、支援対象者名は非公表とします。

事例①

創業期における販路拡大支援を行った事例 【但馬信用金庫】
≪概要≫ 　創業者が抱える様々な課題に対し、但馬信用金庫が地元の企業を積極的に紹介するなど、地元の資源を有効的に活用した支援を実施した事例。また、創業時点の支援に止まらず、予実管理に対する体制の整備や「事業性評価シート」を活用した将来ビジョンの設計等、創業者に寄り添った支援を実施。

事例②

ＳＮＳの活用、ネット販売により売上増加に導いた事例 【淡陽信用組合】
≪概要≫ 　経営者との対話を重ねることで事業者の強みと経営課題を十分に把握し、顧客ターゲットを意識した商品の絞り込みや店内レイアウトの変更等を行った事例。これらの取組みを進めるにあたり、兵庫県中小企業団体中央会や兵庫県信用保証協会の専門家派遣制度を活用するなど、地域の支援機関を有効活用した支援を実施。

事例③

多種多様なメニューにより支援した事例 【尼崎信用金庫】
≪概要≫ 　「組織力」及び「発信力」の不足という課題に対し、尼崎信用金庫の知見やネットワークを活用した多様な支援を実施した事例。「川上・川下ビジネスネットワーク事業」や「ひょうご中小企業技術・経営力評価制度」、「知的資産経営報告書作成支援」、「ホームページ制作業者マッチング」、「あまがさき産業フェア出展」など、多様な支援を実施。

事例④

商工組合中央金庫の独自ツールを活用した支援事例 【商工中金】
≪概要≫ 　事業継続に重大な影響を与える課題に対し、外部環境分析や内部環境分析を行うとともに、経営者との対話を繰り返しながら経営戦略を練り、丁寧に解決していった支援事例。事業性評価を行うためのツールや、従業員の幸福度を可視化するツール「幸せデザインサーベイ」など、商工中金の独自ツールを活用した支援を実施している。

事例⑤

経営者との徹底した「対話」により、コストカットせずに営業赤字から脱却した事例 【兵庫信用金庫】
≪概要≫ 8 期連続営業赤字の状況の中で、安易なコストカットに依らず、経営者と「生産性を向上させるうえで必要なもの」を考えて、伴走して支援し続けた事例。その結果、社員の生産性にかかる計数意識が向上し、直近期では 50 年以上の歴史の中で最高益を計上するなど、業績はＶ字回復している。

事例⑥

付加価値と生産性の向上による更なる飛躍に向けて支援した事例　【兵庫県信用組合】
≪概要≫ 生産能力の増強に向け、機械の増設や生産性を向上させていく必要がある中、資金支援、補助金支援、販路開拓支援、計画書作成支援など、様々な伴走支援を実施した事例。中でも、「はばたく中小企業 300 社」に推薦し選定されたことが、同社のイメージアップに寄与し、販路拡大や従業員のモチベーションアップにも繋がっている。

事例⑦

若者のアイデアを事業に活かすための「大学」との連携を行った事例　【播州信用金庫】
≪概要≫ 業歴 100 年を超える老舗企業に、経営者との対話や各店舗の実地調査、各種資料の分析などを通じて総合的な経営診断を実施。その結果判明した経営課題に対して、外部資源の活用として「大学」との産学連携を提案した事例。高度な栄養学の知識や学生のアイデアを活用した商品開発に加え、当社を地域住民のコミュニティの場とすべく様々なことを模索している。

事例⑧

事業再構築により課題解決に向けた支援を行った事例　【但陽信用金庫】
≪概要≫ コロナの影響を色濃く受ける中、ビジネスモデルを大きく変える必要があるとの共通認識のもと、伴走支援により事業再構築を進めていった事例。「知的資産経営支援」という支援スキームを用い、顧客との間で事業の強みや経営課題が共有できており、こうした取り組みを継続することで信頼関係を構築されている。

事例⑨

円滑な事業承継及び業務システムのデジタル化に向けて支援した事例　【但馬銀行】
≪概要≫ 従業員 200 人規模の事業者を深く分析し、業務システムのデジタル・IT 化による DX 推進支援、また持株会社設立による事業承継支援などを実施した事例。様々な経営課題に対し、外部の専門家や支援機関と連携した伴走支援による課題解決策を実行している。

事例⑩

強い志をもった「事業承継者」を一から支援し、事業再建へ導いた事例　　【中兵庫信用金庫】
≪概要≫ 　コロナ禍の影響を受けて売上が半減する未曾有の事態の中で事業を承継した新代表者と面談し、「100 年続く家業への誇りと再建への強い覚悟」を確認。そして、伴走支援により利益率の改善を図るとともに、商工会議所や県内他信用金庫、よろず支援拠点等各方面からの協力を得て、新たな価値創造に取り組んでいる事例。